



# かてきょー

## 美濃市 牧谷保育園 ひよこくらぶ しゃぼん玉で遊ぼう！ ～赤ちゃんからお年寄りまで、みんなが集まる憩いの場～

美濃市牧谷保育園にある地域子育て支援センター「ひよこくらぶ」では、6月4日(木)に地域ぐるみで「しゃぼん玉で遊ぼう!」を開催されましたのでご紹介します。

### 【開催の目的】

「ひよこくらぶ」では、未就園児とその保護者のために、保育園を開放し、親子で遊びに来られる場を設け、地域の方々や高齢者施設と園が一体となって、様々な楽しい活動を行っています。  
今回は、「しゃぼん玉で遊ぼう」を開催しました。



### 【当日の様子】



講師のバブリン先生は、はさみやペットボトル、ジュースの紙パックからでもしゃぼん玉を作り出し、会場を大いに沸かせました。キャラメル匂いのするしゃぼん玉、長細いしゃぼん玉、人が入れるくらい大きなしゃぼん玉など、様々なしゃぼん玉を見たり、体験したりと、地域ぐるみで楽しいひとときを過ごしていました。



### 【取材を終えて】

毎週木曜日には、地域の方向けに「まきカフェ 地域モーニング」と名付けたカフェが開かれており、この日も赤ちゃんからお年寄りまで多くの人で賑わっていました。今後も、美濃市の地域子育て支援センターとして、様々な楽しい取組を計画され、子どもたちや保護者はもちろんのこと、地域のあらゆる年齢の方を対象に交流の輪を広げていただけることを期待しています。



# 郡上市立 八幡西中学校 赤ちゃんふれあい体験

## ～「あったかくて柔らかい！」親の心を感じる時間～

郡上市立八幡西中学校では、3年生を対象に、6月12日（金）に  
「赤ちゃんふれあい体験」を開催されましたのでご紹介します。

### 【開催の目的】

思春期という多感な時期だからこそ、「命」の尊さや「子育て」の大切さを感じてほしいという願いを込めて、市の生涯学習課、こども家庭課、健康課と連携して企画しました。

### 【当日の様子】



生徒たちは、生涯学習課の担当者から「奇跡の確率で生まれてきた赤ちゃんとは皆さんの対面を、大切な時間にしましょう」と説明を受けた後、「保健師による性教育」「赤ちゃんの抱っこの仕方」「赤ちゃんとはふれ合う時間」「お母さんとの交流」など3時間をかけて体験学習をしました。



生徒たちは赤ちゃんをそっと抱っこして、愛おしそうに見つめたり、笑顔であやしたりしていました。「最近私は、家の手伝いもせずに、反抗ばかりしています。親に感謝しなきゃいけないと分かっているのだけれど、イライラしてしまって・・・」と話す生徒に対し、「私も中学生の時は、親に反抗ばかりしていたよ。この子を産んで、ようやく親に感謝できるようになったよ」と話すお母さん。赤ちゃんとお母さんと生徒たちの間に、あたたかい空気が流れていました。

### 【取材を終えて】

この事業は、郡上市において平成20年から継続して実施されており、今回もスタッフとして、市職員8人、子育てサポーター7人が参加され、地域の「赤ちゃんふれあい体験」への熱意を実感しました。今後も、子どもたちの健やかな成長や、子育て中の保護者のためにも、この事業が継続して実施されていくことを期待しています。



# 防災講演会



## ～家族で考える、大切な命を守るためにできること～

関市立富野中学校では、6月11日（木）の参観日に合わせて、全校生徒親子を対象に「防災講演会」を開催されましたのでご紹介します。

### 【開催の目的】

富野中学校の校区は、数年前に大きな水害を体験した地域であることから、梅雨のこの時期に、親子で共に防災について学び考える機会を作り、自分や家族の命を自分達の力で守っていけるようにしたいと考え、PTA 家庭教育学級委員会が主体となって開催しました。

### 【当日の様子】



前半は、ぎふ防災・減災センターコーディネーターの岩井慶次防災士から、「最近の自然災害から学ぶ、災害時の避難行動」と題した講話を聴きました。親子で隣同士に座り、土砂崩れの前兆を察知することや避難場所の決め方などを学び、親子で避難行動について確認しました。



後半はタブレットを使って、「ぎふ山と川の危険箇所マップ」に自宅や避難場所を入力し、起こりうる自然災害や避難場所までの具体的な移動の仕方などを、親子で話し合いました。参加者からは「今まで家族で話し合ったことはあったが、このように危険箇所マップを活用するとさらにわかりやすかったです」「帰宅したら、今一度、主人も含めて話し合いたいです」といった声が聞かれました。

### 【取材を終えて】

平成30年7月豪雨の際、保育園児だった生徒たちから「夜中にたたき起こされて避難した。あの夜のことはよく覚えている」「水位がどんどん上がり、すごく怖かったことを覚えている」等の発言があり、災害の記憶が残っていることが伺えました。

今回の講演会が今後の地域を背負っていく生徒達にとって、真剣に地域の防災について考える機会となり、高齢者への配慮などにもつながっていくきっかけになることを願っています。



関市 旭ヶ丘幼稚園

# にこにこ保育デー(保育士体験)

## ～お父さん、お母さんが1日先生を体験～

関市の旭ヶ丘幼稚園では、6月17日(水)に「保育士体験」を開催されましたのでご紹介します。

### 【活動の目的】



保護者の方に園生活の流れを知っていただけるよう実施しました。今年度は、4月に新設したうさぎ組(1歳児)、りす組(2歳児)で開催し、園に親しんでいただく機会としました。

### 【当日の様子】



当日は、りす組とうさぎ組の保護者3名が、ママ先生として参加されました。手洗いやおやつ時間の手伝いをしたり、子どもたちと一緒にブロックやおもちゃで遊んだり、絵本の読み聞かせをしたりと、笑顔いっぱい子どもたちと過ごしました。



参加された保護者からは「子どもが園でどんな生活をしているのか知りたくて申し込みましたが、しっかり自立して園の生活を楽しんでいるのを見て、とても安心しました」「半日体験しただけでも、先生たちのご苦労がわかりました。参加したことでわが子が喜んでくれたことも、嬉しかったです」といった声が聞かれました。

### 【取材を終えて】

保育士体験をされた保護者の方々は、子どもたちと真正面から向き合い、自分から積極的にやれることを見つけながら、子どもたちに丁寧に関わっていました。また先生方からは、「保護者の皆さんに、園の様子を知っていただく良い機会になっていると感じています」といった声も聞かれました。

旭ヶ丘幼稚園の保育士体験取材させていただき、あらためて子どもたちは、園と保護者のあたたかい信頼関係の中で育っていくことを実感しました。

